

## 「八幡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の事業進捗状況

※各プロジェクト・施策の基本目標・KPI及び事業パッケージ(どのような事業展開となっているか)を経年で示しています。

※基本目標・KPIの「達成状況」については下表を参照してください。

「達成状況」(目標値の達成状況)	達成	◎	
	未達成	前年度(現状値(H30))より前進または同値の場合	○
		前年度(現状値(H30))より後退している場合	△
	その他(数値なし)	—	

### 1 子どもが輝く未来の創生 「やわた子ども未来プロジェクト」

#### <総括>

##### (1) 次代を生きる力の育成

###### ① 就学前教育・保育の充実

子ども用マスクやアルコール消毒液などの衛生用品の充実、次亜塩素酸水生成装置の設置や空調設備の設置など、公立就学前施設における新型コロナウイルス感染症対策の充実を図る中で、就学前施設における教育・保育の継続に努めた。また、外国人籍の保護者等とのコミュニケーションを円滑にするため、市内公立保育園4園及び幼稚園3園に多言語翻訳機を配置した。

幼小連携については、小学校への円滑な移行のため、令和元年度に整備したアプローチカリキュラム(5歳児用)の実践に努めた。

###### ② 学校教育の充実

学びの環境の充実に向け、公立小中学校のグラウンド整備や屋内運動場空調設備整備等を行うとともに、新たな学びのためのICT教育環境の充実に向け、GIGAスクール構想により、児童生徒1人1台の端末配備と全小中学校の高速ネットワーク整備等を行った。また、引き続き各校への学習支援員の配置により学力の底上げに努めたが、KPIに設定している全国学力・学習状況調査が新型コロナウイルス感染症の影響により実施されなかったため、効果測定はできなかった。

各中学校区ごとに設置している学校支援地域本部では、地域との連携により、各々の地域の特色を活かした学校支援を実施。密になる行事は自粛、対面となることが多い学習支援は全体的に縮小など、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、安全指導などの活動については従来どおりの支援を行うことができた。

###### ③ 配慮が必要な子どもへの支援体制の整備

多様なあり方を認め合える共生社会の実現のため、障がいの有無に関係なく積極的に社会参加する場を設け、関係機関との連携の下、ふれあい交流や障害者差別解消法の啓発等、福祉教育の推進に取り組んだ。また、経済的に困難な家庭の中学生を対象とした民間教育機関による学習機会を提供するスタディサポート事業(鳩嶺教室)を継続的に実施した。不登校児童生徒出現率は全国的に増加傾向が見られるため、本市における動向を注視しながら、従前の取組を継続しつつ、1人1台端末やオンラインを活用した支援等、新しい取組も検討していく。

外国人住民への支援については、保護者等とのコミュニケーションが円滑に図れるよう、市内公立保育園4園及び幼稚園3園に多言語翻訳機を配置するとともに、日本語指導が必要な児童生徒に対し、支援員等の派遣によるサポートを行った。

###### ④ 地域の学びを通じたグローバル教育等への注力

文化財講座や小学生の社会科見学を通じ、次代を担う子どもたちが地域の歴史や文化を愛し、誇りに感じられるよう、地域の文化財の情報発信に努めた。子どもの多文化交流や国際交流の取組として実施予定であった八幡浜市やマイラン村との訪問交流は、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかったが、中学生の英語検定受験料負担や小中学校への外国人指導助手の派遣等については従前どおり実施し、子どもの国際交流の足掛かりとなる英語能力の向上を図った。

## (2) 好奇心・探究心と夢を掴む力の育成

### ① 好奇心・探求心を抱く機会の創出

「放課後子ども総合プラン」の実施に向け、引き続き放課後児童健全育成施設在籍児童が参加する形でやわた放課後学習クラブを実施したが、施設内での密を避けるため、令和2年度は4～6年生児童を対象に募集していた特別プログラムについては実施を見送った。依然として児童を受け入れるための教室や人員、児童の安全性の確保等に課題があるため、全学年を対象とした「放課後子ども総合プラン」の実施には至っておらず、引き続き検討を進めていく。

放課後児童健全育成事業については、入所児童の増加及び施設の老朽化への対応として、中央小学校内施設の増築(建替え)を行い放課後の居場所確保と安心・安全に過ごせる環境を整備した。また新型コロナウイルス感染症対策を徹底するとともに、新たに防犯カメラを設置する等、子どもが安心して過ごせるよう環境整備を行った。

子どもわくわく教室については、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じ屋外スポーツ3教室のみ実施。八幡市スポーツ協会会員による基礎から応用までの指導を通じ、スポーツを始めるきっかけづくりの場を提供することができた。

小学校児童を対象とした農業体験では、八幡農業ボランティアの会の協力のもと収穫体験を行い、児童の好奇心や探求心の育成に貢献できた。

### ② 夢にふれる機会の創出

子どもの夢の実現に向けた意欲を育むことを目的に毎年実施していた「夢の教室」やキャリア体験等の活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。

## (3) 結婚から子育てまで一貫したサポートの充実

### ① 結婚から妊娠・出産・子育て環境の整備と充実

従来の産前・産後ヘルパー派遣事業に加え、居宅訪問型産後ケアの対象を産後1年未満に拡大するとともに、子どもとの関わり方を学び、子育てに楽しさを感じる機会を創出するための「子はたからプロジェクト」を新たに実施した。

就学前施設については、保育園待機児童者数0人を継続。新型コロナウイルス感染症対策も含めた補助事業の充実により、民間施設における教育・保育内容の継続に努めるとともに、地域の実情に応じた持続可能な施設運営に向け、公立施設の再編について検討を進めた。

市民の約3割が居住する男山地域においては、地域子育て支援施設「おひさまテラス」への助成を引き続き実施するとともに、京都府が目指す「子育て環境日本一」の実現に向け、府内最長となる雲梯や野外ステージの整備、新たな小動物の購入等、同地域中心部に位置するさくら近隣公園及びこども動物園を、子育て世代が気軽に集い、ひいては交流を創出するパブリックスペースへとリニューアルした。

ファミリーサポートセンター事業の利用状況や、市内3か所の子育て支援センターの利用実績は、新型コロナウイルス感染症の影響により前年度を下回っているが、コロナ禍において、親子で参加できる交流の機会が減るなど、妊娠や子育てに関する不安を抱える親も多いため、新型コロナウイルス感染症への対策を進めるとともに、令和2年6月以降は施設の利用人数制限を行いつつ、子育て支援センターを再開させることにより、子育て世帯の親子の利用や相談できる環境を継続的に整えた。今後も各専門職や関係機関との連携により不安解消に向けた相談・支援に努めていく。

### ② 子ども・妊産婦の保健体制の充実

こんにちは赤ちゃん訪問事業や各種健康診査を例年通り実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響により訪問率、受診率が大幅に低下した。また、きこえの障がいや早期に発見し支援することで、子どもの言語の発達や母子関係の構築等を促すことを目的とした、新生児聴覚検査にかかる費用の一部負担を令和3年度から実施するよう調整を行った。

### ③ 安心して子育てできる相談・医療体制の充実

様々な事情を抱える家庭が安心して子育てできるように、児童発達支援センターを中心に、障がいの悩み等、子どもの悩みを気軽に相談ができる場を設けたほか、児童・保護者の健康保持及び子育て家庭の経済的な負担軽減を図るべく、医療給付を実施した。また、経済的に困難な家庭の中学生を対象とした民間教育機関による学習機会を提供するスタディサポート事業(鳩嶺教室)を継続的に実施するとともに、日本語指導を必要とする外国人の児童生徒に対し支援員等の派遣によるサポートを行うなど、体制の充実を図った。

### ④ 働く大人の子育てサポート

コロナ禍においても、病児保育事業や延長保育事業、一時預かり事業、放課後児童健全育成事業の継続に努めることで、働く保護者等の子育てサポートを図ったほか、令和3年3月に策定した「男女共同参画プランーぶ計画Ⅲ」に基づき、男女がともに仕事と家事・育児等家庭生活のバランスを図れるよう、今後周知、啓発に努めていく。

## <基本目標の達成状況>

基本目標		現状値(H30)	R2実績	目標値(R6)	達成状況
将来への夢や目標を持つ子どもの割合	小学生(6年生)	79.9%(R1)	76.8%	90%	△
	中学生(3年生)	66.2%(R1)	63.9%	80%	△
子育てが楽しいと思う保護者の割合		53.8%	R5取得予定	70%(R4)	—
子育て世代の転出入者		▲146人	▲190人	0人以上	△

「将来への夢や目標を持つ子どもの割合」が現状値から後退しており、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による各種行事等の中止や友人等とのコミュニケーション希薄化などの影響によるものと思われる。また、「子育て世代の転出入者」についても現状値から後退しており、第2期戦略策定時に分析した、都市部への回帰や子育て世代が住宅供給余力のある近隣自治体に流出している状況が継続していることが主な要因と思われる。

## <各施策の具体的事業の進捗状況>

■ : 地方創生推進交付金を活用して取り組んだ事業

□ : 上記以外の事業

### (1) 次代を生きる力の育成

#### (KPIの達成状況)

KPI		現状値(H30)	R2実績	目標値(R6)	達成状況
全国学力・学習状況調査結果(小学校6年生)	国語	94.0(R1)	未実施	100	—
	算数	96.1(R1)	未実施	100	—
全国学力・学習状況調査結果(中学校3年生)	国語	89.3(R1)	未実施	100	—
	数学	85.3(R1)	未実施	100	—
市内不登校児童生徒出現率	小学生	1.0%	1.1%	0.7%	△
	中学生	5.8%	5.7%	3.7%	○

「市内不登校児童生徒出現率」のうち中学校が現状値からやや改善している一方、小学校は現状値から微増している。平成30年度の全国の出現率は小学校0.7%、中学校3.65%だったが、令和元年度はそれぞれ0.83%と3.94%、令和2年度は1.0%と4.09%といずれも増加傾向にある。不登校児童生徒にとっての休養の必要性が社会に浸透し、保護者の意識が変化したことも要因の一つと考えられており、本市も含め全国的に今後もこの傾向は続く想定される。なお、全国学力・学習状況調査が新型コロナウイルス感染症の影響により実施できず、実績値が取得できなかった。

#### (事業進捗状況)

##### ①就学前教育・保育の充実

###### 【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第4次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

第2章 子どもが輝く「未来のまち やわた」		38～39 ページ
第1節 子育て支援		
施策②就学前教育・保育の充実 プロジェクト1.就学前教育・保育の充実		

#### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

令和2年度実績 実績・事業費※( )内は交付金充当額	令和3年度取組内容 実績・事業費※( )内は交付金申請額
	<b>○ みどりの園庭づくり事業</b> 子どもの体力向上や遊びの多様化を図るとともに、ウォークアブルシティへの先駆けとなるよう、わかたけ保育園園庭の芝生化等を実施 4,700千円(2,350千円)

【再掲】

## ②学校教育の充実

### 【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第4次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

第1章 ともに支え合う「共生のまち やわた」		/
第2節 協働による地域づくり		
施策①コミュニティ活動による地域づくりの推進		
プロジェクト3.多様なコミュニティ組織による地域づくり		23 ページ
第2章 子どもが輝く「未来のまち やわた」		/
第2節 子どもの生きる力の育成		
施策①学校教育		
プロジェクト1.学校教育の充実		
プロジェクト2.学校教育環境の整備		44 ページ

### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

→なし

## ③配慮が必要な子どもへの支援体制の整備

### 【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第4次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

第2章 子どもが輝く「未来のまち やわた」		/
第2節 子どもの生きる力の育成		
施策①学校教育		
プロジェクト3.配慮が必要な子どもへの支援体制の整備		45～46 ページ

### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

令和2年度実績 実績・事業費※( )内は交付金充当額	令和3年度取組内容 実績・事業費※( )内は交付金申請額
○ スタディサポート事業(鳩嶺教室) 経済的に困難な家庭の中学生を対象に実施 受講 中学生119人 34,909千円	⇒ スタディサポート事業(鳩嶺教室) 対象を小学4年生以上に拡大 55,290千円(9,500千円)

## ④地域の学びを通じたグローバル教育等への注力

### 【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第4次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

第4章 自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」		/	
第1節 シビックプライドの醸成			
施策①文化芸術活動の振興			
プロジェクト1.市民が文化芸術に接し交流する機会の拡充			82 ページ
プロジェクト2.市民による文化芸術活動の促進			83 ページ
プロジェクト3.文化財の保存及び活用		84～86 ページ	

### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

→なし

## (2) 好奇心・探究心と夢を掴む力の育成

### (KPIの達成状況)

KPI		現状値(H30)	R2実績	目標値(R6)	達成状況
放課後子ども総合プラン実施箇所数	一体型	—	0か所	4か所	○
	連携型	—	0か所	4か所	○
子どもわくわく教室開催数		7教室	3教室	9教室	△

「放課後子ども総合プラン実施箇所数」については、依然として児童を受け入れるための教室や人員、児童の安全性の確保等について課題があり、一体型・連携型ともに全学年を対象とした実施には至っておらず、引き続き検討を進めていく。「子どもわくわく教室開催数」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じられる屋外スポーツ教室のみ実施したため、現状値から後退となった。

### (事業進捗状況)

#### ①好奇心・探求心を抱く機会の創出

##### 【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第4次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

第2章 子どもが輝く「未来のまち やわた」		/
第2節 子どもの生きる力の育成		
施策②児童・青少年の健全育成		
プロジェクト1.放課後における児童の健全育成	47 ページ	
プロジェクト2.青少年の健全育成	48～49 ページ	
第4章 自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」		/
第1節 シビックプライドの醸成		
施策②お茶のある幸せの風景の創出		
プロジェクト1.お茶に親しむ機会の創出	87 ページ	

##### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

→なし

#### ②夢にふれる機会の創出

##### 【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第4次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

第2章 子どもが輝く「未来のまち やわた」		/
第2節 子どもの生きる力の育成		
施策①学校教育		
プロジェクト1.学校教育の充実	41～43 ページ	

##### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

→なし

### (3)結婚から子育てまで一貫したサポートの充実

#### (KPIの達成状況)

KPI	現状値(H30)	R2実績	目標値(R6)	達成状況
保育園待機児童者数	0人	0人	0人	◎
認定こども園の数	5か所	5か所	7か所	○
3歳児健康診査受診率	94.2%	63.9%	95.0%	△
こんにちは赤ちゃん訪問事業の訪問率	92.6%	77.8%	95.0%	△
ファミリーサポートセンター登録会員数	411人	426人	435人	○
「保育園待機児童者数」については引き続き目標値を達成した一方、新型コロナウイルス感染症の影響により「3歳児健康診査受診率」「こんにちは赤ちゃん訪問事業の訪問率」が現状値から大幅に後退した。「認定こども園の数」については現状値と同値、「ファミリーサポートセンター登録会員数」は、共働き世帯の増加等の要因により子育ての援助を必要とする利用会員が増加したため、現状値から前進した。				

#### (事業進捗状況)

##### ①結婚・妊娠・出産・子育て環境の整備と充実

##### 【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第4次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

第2章 子どもが輝く「未来のまち やわた」		
第1節 子育て支援		
施策①妊娠・出産・育児サポート		
プロジェクト1.妊娠・出産・子育て環境の整備と充実		31～32 ページ
施策②就学前教育・保育の充実		
プロジェクト1.就学前教育・保育の充実		38～39 ページ
プロジェクト2.公立就学前施設の再編		40 ページ

##### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

令和2年度実績 実績・事業費※( )内は交付金充当額	令和3年度取組内容 実績・事業費※( )内は交付金申請額
<b>○ 子育て支援事業助成</b> 男山地域の地域子育て支援施設「おひさまテラス」に対し、事業費の一部を助成  「おひさまテラス」 利用児童 685人 1,495千円	⇒ 継続実施   1,524千円(750千円)
<b>○ 子はたからプロジェクト</b> 子どもとの関わり方を学び、子育てに楽しさを感じる機会を提供するため、絵本を配布、絵本を媒体にしたワークショップを開催 WS開催 1回、参加者 18人 940千円	⇒ 継続実施   670千円(335千円)
<b>○ さくら近隣公園リニューアル</b> 安心して子育てできる環境の創出に向け、公園をリニューアル	⇒ オープニングイベント実施 リニューアルした公園のオープニングイベント開催(新型コロナウイルス感染症の影響により中止)  500千円(250千円)
47,159千円	

○ こども動物園充実 ふれあい体験実施に係る小動物購入 (デグーマウス6匹、チンチラ2匹)  125千円	⇒ 継続実施 購入(予定):九官鳥1羽  400千円(175千円)
	○ さくら近隣公園子育てイベント実施 リニューアルした公園を活用した子育てイベントの開催  500千円(250千円)
	○ スケートボードパーク整備 男山レクセン内に新設し、子どもたちが安心して楽しめる空間を創出  36,500千円(18,250千円)

【再掲】

## ②子ども・妊産婦の保健体制の充実

### 【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第4次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

第2章 子どもが輝く「未来のまち やわた」		/
第1節 子育て支援		
施策①妊娠・出産・育児サポート	プロジェクト2.子ども・妊産婦の保健体制の充実	

### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

→なし

## ③安心して子育てできる相談・医療体制の充実

### 【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第4次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

第1章 ともに支え合う「共生のまち やわた」		/
第1節 共に生きる社会		
施策③障がいのあるなしにかかわらず地域で安心して暮らせる社会の推進	プロジェクト1.相談・保健・医療体制の充実	
	プロジェクト2.自立・参加支援体制の充実	14～15 ページ
第2章 子どもが輝く「未来のまち やわた」		/
第1節 子育て支援		
施策①妊娠・出産・育児サポート	プロジェクト3.相談・支援体制の充実	
	プロジェクト4.ひとり親家庭支援の充実	37 ページ
第2節 子どもの生きる力の育成		/
施策①学校教育	プロジェクト3.配慮が必要な子どもへの支援体制の整備	
第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」		/
第2節 医療・介護の連携		
施策①医療基盤の充実	プロジェクト1.地域医療・救急医療体制の確保	
	プロジェクト3.医療費助成制度の適正運用	71 ページ

### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

→なし

#### ④働く大人の子育てサポート

##### 【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第4次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。  
但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

第1章 ともに支え合う「共生のまち やわた」	11 ページ
第1節 共に生きる社会	
施策②男女共同参画の推進 プロジェクト3.ワーク・ライフ・バランスの確保	

##### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

→なし



## 2 健幸都市の創生 「やわたスマートウェルネスシティプロジェクト」

### <総括>

#### (1) スマートウェルネスシティやわたの промоーション

##### ① 「やわたスマートウェルネスシティ構想」及び「スマートウェルネスシティ計画」の推進

国民健康保険等のデータを一元化した健幸クラウドシステムによる分析の結果、ヘルスリテラシーや歩行環境の違い等により小学校区ごとの医療費の差が見られたことを受け、開始した小学校区ごとの健康教室や健幸マルシェについて、例年通り開催し、構想・計画の推進に向け取り組む予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い中止となった。

##### ② 健幸プロモーションの推進

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、集合型のイベント開催が難しい状況が続く中、動画配信による啓発などを実施。地域コミュニティの中で「ロコミ」により健康無関心層へアプローチを行う市民等を養成する健幸アンバサダー養成事業については、引き続き実施した。コロナ禍により、外出機会の減少などを要因とする健康二次被害の拡大が懸念されることから、今後は、コロナに対応した形でのイベントの開催や、健康二次被害の予防について発信していくことが必要となる。

#### (2) 市民協働で行う高齢者の健康づくり

##### ① 地域で行う健康づくり体制の充実

地域での支え合い活動の仕組み構築に向けた絆ネットワーク構築支援事業や「わたしたちの談話」プロジェクトの継続的な実施により、地域でのやりがいを感じられる高齢者の増加に繋げるとともに、生活総合機能改善機器を活用し、歌、音楽、映像による運動、口腔、認知機能の維持向上を図る体操教室を実施するなど、心身ともに健康を維持、増進し、健康寿命の延伸へと繋げる取組を行った。

##### ② 健康寿命を延ばす習慣の定着・促進

生活総合機能改善機器を活用し、歌、音楽、映像による運動、口腔、認知機能の維持向上を図る体操教室を実施した。また、コミュニティによる健康づくりについては、コロナを正しく恐れつつ必要な対策を行うなど、安全な実施に向けたサポートを行うことにより活動を促進し、引き続き平均寿命と健康寿命の差縮小に努めていく。

##### ③ 生涯活躍のまちの推進

高齢者の就労機会提供等による生きがいづくりを目的としたシルバー人材センターへの運営費助成を引き続き行うとともに、高齢者の憩いと交流を目的とした八寿園及び老人の家運営を行い、高齢者の生きがいづくりに努めた。

##### ④ 地域包括ケアシステムの推進

地域包括支援センターにおいて、高齢者の総合相談窓口の運営や地域ケア会議の開催等の取組を引き続き実施した。

#### (3) 誰もが気軽に参加できる健幸プログラムづくり

##### ① 健康づくり習慣の定着に向けた世代・嗜好にあった健幸プログラムの創出

ウォーキングを中心とした運動習慣定着のための新たな健幸プログラムとして令和元年度から実施している「やわた未来いきいき健幸プロジェクト」については、ほぼ予定どおりに事業を推進することができ、参加目標人数をクリアしている状況。新型コロナウイルス感染症の流行により、ウォーキング等一人でも実施できる運動に対して今まで以上に注目が集まっていることから、新たな層へのアプローチも含め検討していく。

##### ② 歩きやすい、歩いて楽しい道づくり

市民のウォーキング習慣定着のため、中学校区ごとにコースを設定して作成し、公共施設やイベント等で配布している「健康ウォーキングマップinやわた」の更なる普及に向け、同マップのコースを活用したウォーキングイベントを実施した。一方で、市民ふれあいウォーキング、ノルディックウォーキング教室が中止、市民スポーツ公園や運動公園の利用者数も例年に比べ減少する等、事業の実施にあたり新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた。

西山地区での歩道バリアフリー化工事や、男山散策路及び周辺の危険木除去を実施するとともに、放置自転車等対策を実施し、歩きやすい環境の整備に努めた。

また、本市はウォーカブル推進都市に登録しており、その取組の一環として、自然や歴史文化を活かした歩きたくなる・外出したくなるまちづくりに向け、国の説明会に参加するなど情報収集や事例研究に努めた。

## <基本目標の達成状況>

基本目標		現状値(H30)	R2実績	目標値(R6)	達成状況
健幸クラウドシステム	からだの状況とライフスタイル	1.5/5.0	1.0/5.0	3.5/5.0	△
	ソーシャルアクティビティ	1.5/5.0	1.5/5.0	3.5/5.0	○
	スマートウェルネスシティインフラ	2.0/5.0	3.0/5.0	4.0/5.0	○
<p>「からだの状況とライフスタイル」においては、寝たきりリスクの項目で点数の減少があり、現状値から後退となった。「スマートウェルネスシティインフラ」においては、SWC推進体制と無関心層への対策の項目で点数が増加し、現状値から前進となった。「やわた未来いきいき健幸プロジェクト」などのポピュレーションアプローチ施策の実施が評価されたものと考えられる。</p>					

## <各施策の具体的事業の進捗状況>

■ : 地方創生推進交付金を活用して取り組んだ事業

■ : その他、市で取り組んだ主な事業

### (1) スマートウェルネスシティやわたのプロモーション

#### (KPIの達成状況)

KPI	現状値(H30)	R2実績	目標値(R6)	達成状況
定期的に運動をしている市民の割合	58.9%(H28)	R3取得予定	67.5%	—
健康づくりイベント参加者数	2,500人	684人	4,000人	△

「健康づくりイベント参加者数」については、現状値から大きく後退しており、新型コロナウイルス感染症の影響により、集合型のイベント開催が難しい状況が続いたことが要因と考えられる。

#### (事業進捗状況)

##### ①「やわたスマートウェルネスシティ構想」及び「スマートウェルネスシティ計画」の推進

###### 【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第4次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」		
第1節 健康で幸せのまちづくり		
施策①健康づくり習慣の定着促進		
プロジェクト1.健康意識の向上促進		54～56 ページ
施策②地域のつながりを活かした健幸づくり		
プロジェクト2.産官学の連携と市民協働の仕組みづくり		63 ページ

###### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

令和2年度実績 実績・事業費※( )内は交付金充当額	令和3年度取組内容 実績・事業費※( )内は交付金申請額
○ 健幸クラウドシステム運用 国民健康保険等のデータを一元化し 健康課題を分析、施策立案を実施  R1データ分析 6,380千円(3,190千円)	⇒ 継続運用  R2データ分析 6,430千円(3,198千円)

##### ②健幸プロモーションの推進

###### 【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第4次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」		
第1節 健康で幸せのまちづくり		
施策①健康づくり習慣の定着促進		
プロジェクト1.健康意識の向上促進		54～56 ページ
プロジェクト2.運動習慣の定着促進		57～58 ページ
施策②地域のつながりを活かした健幸づくり		
プロジェクト2.産官学の連携と市民協働の仕組みづくり		63 ページ

【うち地方創生推進交付金活用事業】

令和2年度実績 実績・事業費※( )内は交付金充当額	令和3年度取組内容 実績・事業費※( )内は交付金申請額
<p>○ 健幸マルシェ開催 健幸クラウドの分析結果に基づく健康づくり啓発イベントの開催</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により中止 0千円</p>	<p>⇒ 継続開催</p> <p>健幸マルシェ2回開催 135千円(50千円)</p>
<p>○ やわたヘルスプロモーション推進 情報を伝える人(健幸アンバサダー)を養成し、健康情報の提供を実施</p> <p>健幸アンバサダー養成 39人 累計449人 341千円(123.9千円)</p>	<p>⇒ 継続実施</p> <p>健幸アンバサダー養成 840千円(330千円)</p>

## (2) 市民協働で行う高齢者の健康づくり

(KPIの達成状況)

KPI		現状値(H30)	R2実績	目標値(R6)	達成状況
産官学と地域連携によるコミュニティ運動教室	実施箇所数	5か所	5か所	20か所	○
	参加者数	106人	93人	500人	△
平均寿命と健康寿命の差	男性	1.80歳	1.96歳	現状値より縮小	△
	女性	4.09歳	4.06歳	現状値より縮小	◎

「産官学と地域連携によるコミュニティ運動教室」については、実施箇所数は現状値と同値、参加者数は現状値から後退となった。安定して使用することができる実施場所の確保が難しいことや、教室を運営するサポーター数が思うように伸びていない点が影響しているほか、コロナ禍で教室への参加を控えるようなケースがあったことも要因と思われる。「平均寿命と健康寿命の差」については、女性が目標値を達成、男性が現状値から後退となっており、両性ともに目標値を達成できるよう引き続き取り組んでいく。

(事業進捗状況)

### ①地域で行う健康づくり体制の充実

#### 【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第4次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

<b>第1章 ともに支え合う「共生のまち やわた」</b>		
第1節 共に生きる社会		
施策④地域の絆と支え合いによる共生社会の推進		
プロジェクト1.地域福祉推進体制の充実		18 ページ
<b>第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」</b>		
第1節 健康で幸せのまちづくり		
施策②地域のつながりを活かした健幸づくり		
プロジェクト1.地域で支える介護予防の推進		61～62 ページ

#### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

→なし

### ②健康寿命を延ばす習慣の定着・促進

#### 【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第4次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

<b>第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」</b>		
第1節 健康で幸せのまちづくり		
施策①健康づくり習慣の定着促進		
プロジェクト1.健康意識の向上促進		54～56 ページ
プロジェクト2.運動習慣の定着促進		57～58 ページ
プロジェクト3.健康的な食・生活習慣の定着促進		59～60 ページ

#### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

→なし

### ③生涯活躍のまちの推進

#### 【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第4次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」	/
第1節 健康で幸せのまちづくり	
施策②地域のつながりを活かした健幸づくり プロジェクト3.社会的活動への参加促進	
	64 ページ

#### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

→なし

### ④地域包括ケアシステムの推進

#### 【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第4次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」	/
第2節 医療・介護の連携	
施策②地域包括ケアシステムの推進 プロジェクト1.地域包括ケアシステムの構築	
	74～75 ページ

#### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

→なし

### (3) 誰もが気軽に参加できる健幸プログラムづくり

(KPIの達成状況)

KPI	現状値(H30)	R2実績	目標値(R6)	達成状況
ウォーキングマップの認知率	25.7%(H28)	R3取得予定	40.0%	—
市民スポーツ公園利用者数	157,561人	104,992人	163,200人	△
運動公園利用者数	17,560人	13,961人	19,160人	△

「市民スポーツ公園利用者数」「運動公園利用者数」ともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による臨時閉園や外出自粛等の影響を受け、現状値から後退となった。

(事業進捗状況)

#### ①健康づくり習慣の定着に向けた世代・嗜好にあった健幸プログラムの創出

##### 【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第4次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」	
第1節 健康で幸せのまちづくり	
施策①健康づくり習慣の定着促進	
プロジェクト1.健康意識の向上促進	54～56 ページ
プロジェクト2.運動習慣の定着促進	57～58 ページ
プロジェクト3.健康的な食・生活習慣の定着促進	59～60 ページ
施策②地域のつながりを活かした健幸づくり	
プロジェクト2.産官学の連携と市民協働の仕組みづくり	63 ページ

#### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

令和2年度実績 実績・事業費※( )内は交付金充当額	令和3年度取組内容 実績・事業費※( )内は交付金申請額
<b>○ やわた未来いきいき健幸プロジェクト</b> 健康意識向上に向け、歩数や検診受診等に応じ景品等に交換可能なポイントを付与する健幸づくりインセンティブ事業を実施 参加者 2,100人 36,450千円(13,962.1千円)	<b>⇒ 継続実施</b> 参加者目標 3,000人 39,000千円(14,413千円)
	<b>○ やわたスポーツカーニバル開催</b> スポーツの普及・振興に向け、市民にスポーツに親しむ機会を提供し、市民相互の交流を促進するイベントを開催 1,500千円(750千円)
	<b>○ スケートボードパーク整備</b> 男山レクセン内に新設し、子どもたちが安心して楽しめる空間を創出 36,500千円(18,250千円)

②歩きやすい、歩いて楽しい道づくり

【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第4次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」		
第1節 健康で幸せのまちづくり		
施策③ 健幸につながるまちの基盤づくり		
プロジェクト1. 歩きやすい、歩いて楽しい道づくり		65 ページ
プロジェクト2. 出かけたくなる都市環境の整備		66～67 ページ

【うち地方創生推進交付金活用事業】

令和2年度実績 実績・事業費※( )内は交付金充当額	令和3年度取組内容 実績・事業費※( )内は交付金申請額
	<p><b>○ みどりの園庭づくり事業</b></p> <p>子どもの体力向上や遊びの多様化を図るとともに、ウォークアブルシティへの先駆けとなるよう、わかたけ保育園園庭の芝生化等を実施</p> <p>4,700千円(2,350千円)</p>
<p><b>○ ウォーキング推進事業</b></p> <p>イベント開催 1回、マップ配布</p> <p>34千円</p>	<p><b>⇒ 継続実施</b></p> <p>イベントの実施、マップ配布</p> <p>128千円(60千円)</p>



### 3 観幸のまちの創生「訪れてよしのやわた魅力向上プロジェクト」

#### <総括>

##### (1) おもてなしの心の醸成

###### ① 歴史・文化芸術に触れる機会の創出

日本三大随筆とされる徒然草第52段に因み、AI時代の日本語を考えることに貢献するとともに、本市の歴史発信を目的として第4回目の「徒然草エッセイ大賞」を実施。海外11か国を含む各地から過去最高の応募があり、本事業を通じ応募者等へ本市が誇る歴史・文化の魅力幅広く発信することができた。また、市民が様々な文化に触れる機会を創出するべく開催予定であった市民文化祭や子どもわくわく文化教室、松花堂庭園での茶会等は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

###### ② お茶のある幸せの風景の創出

次代を担う小学生を対象にお茶学習を実施し、お茶に親しむ機会や八幡の茶文化を学ぶ機会を提供することにより、子どもたちへ八幡のてん茶や茶文化の魅力を伝えることができた。なお、お茶を通じた交流促進によるおもてなしの心の醸成を目的に実施予定であった松花堂等での茶会、茶香服大会については、新型コロナウイルス感染症の影響に鑑み中止となった。

また、空中茶室「閑雲軒」体験VRを制作し、イベントを開催することで本市に息づく茶文化の発信に取り組む予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い中止し、WEB上でのイベント開催及びYouTubeチャンネルでの体験VR動画公開へと切り替えた。京都やましろ地域×東京しぶや連携交流事業では、次年度以降の茶文化発信、特産品開発等の取組深化に向け、HPでのお茶の京都地域のPRや、特産品開発に向けてのヒアリング等を実施した。

##### (2) 幸せと出逢う観光まちづくり

###### ① 「観幸のまち やわた」のブランド構築

新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、観光基本計画の実現に向け、台湾・香港プロモーションのための動画制作や、嵯峨美術大学との連携によるサイクリングマップの制作等、アフターコロナに向けた取組を推進するとともに、市内社寺の文化財一斉公開や「お茶の京都DMO」との連携による観光地域づくり等を継続的に実施した。また、やわたブランド創造事業として、特産品認定制度の確立を目指し、やわたブランド審査委員会の設置や、ブランド名称の公募に向けた準備を行った。

SNSの活用については、季節ごとにインスタグラムを活用したキャンペーンを企画し、市民参加形式で地域資源の魅力発信に取り組むとともに、新たにLINEとTwitterの公式アカウントを取得し、情報拡散性が高いSNSの利点を生かした市内外への情報発信に取り組んだ。

###### ② 観光まちづくりの推進に向けた基盤整備

名勝松花堂及び書院庭園をはじめとする市内文化財の保存・整備と更なる活用を進めたほか、観光客等の安全確保のため男山散策路及び周辺の危険木除去を実施した。また、本市へのアクセス向上が見込まれる令和5年度の新名神高速道路の全線開通に向けた協議・調整への協力や、高速道路周辺のアクセス道路である(府)八幡京田辺インター線や(都)八幡田辺線の整備について京都府への協力を行った。

新型コロナウイルス感染症の影響によるコミュニティバス利用者の減少や、市内公共交通機関の経営悪化に伴う減便等により、観光客のアクセス・移動手段に影響が出ている。今後、アフターコロナに向けた利用促進策の検討や、地域公共交通会議を通じた路線の維持、改善等によりアクセス・移動手段の確保を図っていく必要がある。

また、自然環境に関する写真コンテストの実施や、地球温暖化対策活動推進のための国民運動「COOL CHOICE」の普及啓発等により、本市が有する観光資源の一つである豊かな自然を守り育てる機運の醸成に努めた。

###### ③ 資源を活かした周遊・体験・滞在型の広域観光の推進

本市にかつて存在した空中茶室「閑雲軒」をバーチャル上で体験できるVRコンテンツを制作し、WEB上でのイベント開催及びYouTubeチャンネルでのコンテンツ公開を実施するとともに、京都やましろ地域×東京しぶや連携交流事業において、山城地域を周遊する広域観光の促進に向けたHPでのお茶の京都地域のPR等を実施するなど、本市が有する資源を活かした魅力の発信に努めた。松花堂庭園等での茶会、茶香服大会開催を通じた八幡産てん茶の普及啓発事業については、新型コロナウイルス感染症の影響に鑑み中止となった。

松花堂庭園・美術館では、アフターコロナを見据えた、訪日外国人旅行者の満足度向上や観光消費拡大に繋げるための新たなコンテンツ造成に係る取組として『博物館・文化財等におけるナイトタイム充実支援事業「魅惑のナイトガーデン～松花堂弁当発祥の地で楽しむ和食と庭園～」』を実施し、夜間の庭園という新たな魅力に触れる機会を創出した。

<基本目標の達成状況>

基本目標	現状値(H30)	R2実績	目標値(R6)	達成状況
年間観光入込客数	219万人	175万人	285万人	△
年間観光消費額	6.27億円	4.32億円	8.5億円	△
観光情報ハウスへの外国人来訪者数	1,020人	74人	1,800人	△
<p>「年間観光入込客数」「年間観光消費額」「観光情報ハウスへの外国人来訪者数」全てにおいて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による外出自粛等や訪日外国人の急減の影響を受け、現状値から後退となった。</p>				

## <各施策の具体的事業の進捗状況>

■ : 地方創生推進交付金を活用して取り組んだ事業

□ : 上記以外の事業

### (1)おもてなしの心の醸成

(KPIの達成状況)

KPI	現状値(H30)	R2実績	目標値(R6)	達成状況
ボランティアガイド人数	77人	76人	106人	△
市民文化祭参加者数	3,000人	中止	3,000人	—
お茶学習参加者数	34人	25人	80人	△

「ボランティアガイド人数」については、例年観光協会と連携し実施している養成講座が新型コロナウイルス感染症の影響により開催できず、新たなボランティアガイドの養成を行うことができなかったことが要因となり微減、現状値から後退した。「お茶学習参加者数」については、対象である小学校の生徒数が現状値から減少したことが要因となり微減、現状値から後退した。なお、「市民文化祭参加者数」については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

(事業進捗状況)

#### ①歴史・文化芸術に触れる機会の創出

##### 【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第4次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

第4章 自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」		
第1節 シビックプライドの醸成		
施策①文化芸術活動の振興		
プロジェクト1.市民が文化芸術に接し交流する機会の拡充		82 ページ
プロジェクト3.文化財の保存及び活用		84～86 ページ
施策③豊かな自然・歴史との触れ合い		
プロジェクト3.歴史景観の保全		91 ページ

##### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

令和2年度実績 実績・事業費※( )内は交付金充当額	令和3年度取組内容 実績・事業費※( )内は交付金申請額
○ 徒然草エッセイ大賞 応募点数 3,564点 10,600千円(3,655千円)	⇒ 継続実施 授賞式を所縁のある仁和寺で実施予定 11,500千円(4,250千円)

#### ②お茶のある幸せの風景の創出

##### 【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第4次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

第4章 自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」		
第1節 シビックプライドの醸成		
施策②お茶のある幸せの風景の創出		
プロジェクト1.お茶に親しむ機会の創出		87 ページ
プロジェクト2.茶文化の発信		88 ページ

【うち地方創生推進交付金活用事業】

令和2年度実績 実績・事業費※( )内は交付金充当額	令和3年度取組内容 実績・事業費※( )内は交付金申請額
<p>○ お茶の京都普及啓発事業</p> <p>空中茶室・閑雲軒を題材とした体験VR制作、制作記念WEBイベント実施</p> <p>2,123千円(750千円)</p>	<p>⇒ 継続実施</p> <p>背割堤さくらVR制作、紙製VRゴーグル・広報チラシ・ポスター制作</p> <p>1,100千円</p>
<p>○ 八幡産てん茶普及啓発事業</p> <p>お茶学習 1回 参加25人(茶会・茶香服は新型コロナウイルス感染症の影響により中止)</p> <p>30千円(14.7千円)</p>	<p>⇒ 継続実施</p> <p>・松花堂でのお茶席体験実施 ・市内小学校でのお茶学習実施</p> <p>780千円(330千円)</p>
<p>○ 「Chazz in YAWATA」開催</p> <p>本市ゆかりの伝統文化である茶文化と新しい文化(Jazz等)が融合した、新たなお茶の楽しみ方を提案し、交流を創出するためのイベント(新型コロナウイルス感染症の影響により中止)</p> <p>0千円</p>	
<p>○ 京都やましろ地域×東京しぶや連携交流事業</p> <p>委員会開催 2回、HP制作、動画PR等</p> <p>負担金支出 1,058千円(529千円)</p>	<p>⇒ 継続実施</p> <p>担当者会議・委員会開催、連携イベントメニュー開発、オンラインツアー実施</p> <p>負担金支出 1,271千円(635千円)</p>

## (2) 幸せと出逢う観光まちづくり

### (KPIの達成状況)

KPI	現状値(H30)	R2実績	目標値(R6)	達成状況
商品開発数	1	1	2	○
プロモーション(商談会)参加件数	5件	2件	8件	△
観光意欲度(全国順位)	375位	388位	200位以上	△

「商品開発数」は、新たな商品開発がなかったため、現状値と同値となった。「プロモーション(商談会)参加件数」は、新型コロナウイルス感染症の影響により現状値から後退となった。また、「観光意欲度(全国順位)」については、「お茶の京都」の取組等を通じ上昇を目指しているものの、現状値から後退となっている。指数としてはH30が17.5、R2が18.4と上昇していることから、他市町も同様に観光振興に取り組む中、全国順位が低下したと思われ、目標値達成に向けたさらなるプロモーションが必要と考える。

※商品開発数は、計画期間中の累計。

### (事業進捗状況)

#### ①「観幸のまちやわた」のブランド構築

##### 【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第4次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

第4章 自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」		
第2節 幸せと出逢う観光まちづくり		
施策①「観幸のまち やわた」のブランド構築		
プロジェクト1.ブランドの構築		92 ページ
プロジェクト2.プロモーションの推進		93～94 ページ
プロジェクト3.観光まちづくりを進める体制づくり		95 ページ

##### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

令和2年度実績 実績・事業費※( )内は交付金充当額	令和3年度取組内容 実績・事業費※( )内は交付金申請額
○ 観光基本計画推進 推進協議会・庁内委員会開催 各1回 56千円(26.4千円)	⇒ 推進 推進協議会・庁内委員会開催 各1回 132千円
○ 観光協会活動助成 ↓ 15,050千円	⇒ 継続実施 ↓ 19,330千円
○ 秋の文化財一斉公開 本市の歴史・文化の魅力発信に向け、市内社寺等との連携により、特別拝観や文化財特別公開等を実施 597.3千円(298.6千円)	⇒ 継続実施 600千円(300千円)
○ 台湾・香港プロモーション 訪日回数とリピーターが多い台湾・香港に向け、認知度向上に向けた情報発信や商談会への参画を実施 940千円(400千円)	
○ お茶の京都DMO分担金支出 6,675千円(2,518千円)	⇒ 分担金支出 6,575千円(2,410千円)

<b>○ 観光地域活性化共同事業</b> ・嵯峨美術大学と連携し、デザイン及びアートを通じた地域活性化 ・PR動画「旅の星」制作、サイクリングマップ作成  500千円(250千円)	
<b>○ 広域観光PR紙作成業務</b> 八幡さんぼ作成(中止)  0千円	
<b>○ やわたブランド創造事業</b> 商工会等と連携した特産品認定の仕組みづくりや特産品の開発・PR  491千円(244.3千円)	<b>⇒ 継続実施</b> ・やわたブランド名称、ロゴマークの決定 ・特産品認定に係る要綱制定、特産品募集・認定予定 ・ヤワタカラワーキングチームの設置 974千円(473千円)
<b>○ 徒然草エッセイ大賞</b> 応募点数 3,564点 10,600千円(3,655千円)	<b>⇒ 継続実施</b> 授賞式を所縁のある仁和寺で実施予定 11,500千円(4,250千円)

【再掲】

## ②観光まちづくりの推進に向けた基盤整備

### 【主な事業】

→ 総合計画を参照。(第5次総合計画第4次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

<b>第4章 自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」</b>		
第2節 幸せと出逢う観光まちづくり		
施策②自然と歴史と文化が織りなす「出逢いの物語」観光の推進		
プロジェクト1.石清水八幡宮を活かした交流拠点づくり	96	ページ
プロジェクト3.おもてなし環境の整備	99	ページ
<b>第5章 しなやかに発展する「活力のまち やわた」</b>		
第2節 活力の基盤整備		
施策②人・物の流れをつくる基盤の整備		
プロジェクト1.新名神高速道路(八幡京田辺～高槻間)の整備促進	115	ページ
プロジェクト2.市内幹線道路の整備	116～117	ページ
プロジェクト3.交流拠点の整備	118	ページ
プロジェクト4.ニーズに応じた公共交通の充実	119	ページ

### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

→ なし

③資源を活かした周遊・体験・滞在型の広域観光の推進

【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第4次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

<b>第4章 自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」</b>		
第1節 シビックプライドの醸成		
施策②お茶のある幸せの風景の創出		
プロジェクト2.茶文化の発信		88 ページ
施策③豊かな自然・歴史との触れ合い		
プロジェクト1.自然と触れ合うきっかけづくり		89 ページ
第2節 幸せと出逢う観光まちづくり		
施策②自然と歴史と文化が織りなす「出逢いの物語」観光の推進		
プロジェクト2.資源を活かした周遊・体験・滞在型の広域観光の推進		97～98 ページ

【うち地方創生推進交付金活用事業】

令和2年度実績 実績・事業費※( )内は交付金充当額	令和3年度取組内容 実績・事業費※( )内は交付金申請額	
<b>○ お茶の京都普及啓発事業</b> 空中茶室・閑雲軒を題材とした体験VR制作、制作記念WEBイベント実施 2,123千円(750千円)	⇒ 継続実施 背割堤さくらVR制作、紙製VRゴーグル・広報チラシ・ポスター制作 1,100千円	【再掲】
<b>○ 八幡産てん茶普及啓発事業</b> お茶学習 1回 参加25人(茶会・茶香服は新型コロナウイルス感染症の影響により中止) 30千円(14.7千円)	⇒ 継続実施 ・松花堂でのお茶席体験実施 ・市内小学校でのお茶学習実施 780千円(330千円)	【再掲】
<b>○ 京都やましろ地域×東京しぶや連携交流事業</b> 委員会開催 2回、HP制作、動画PR等 負担金支出 1,058千円(529千円)	⇒ 継続実施 担当者会議・委員会開催、連携イベントメニュー開発、オンラインツアー実施 負担金支出 1,271千円(635千円)	【再掲】

## 4 みんなで創る多機能な力を有したまちの創生「住んでよしのやわたチャレンジプロジェクト」

### <総括>

#### (1)「日本一魅力的なスローライフタウン」へのチャレンジ

##### ①環境と調和したしごとの創出

八幡市都市計画マスタープランや市街地整備計画に基づき、京都府や関係機関との連携の下、周辺の土地利用との調和を図った都市的土地利用を市街化調整区域において進めている。一方で、市街化区域内の農地を保全するため、生産緑地指定後30年が経過する令和4年に向け、新たに制度化された特定生産緑地について生産緑地地区の所有者への周知及び指定意向の確認を行い、指定に向けた事務を進めた。また、市域就職面接会を京都ジョブパーク及び地域若者サポートステーションと連携し実施するなど、地域の雇用の場創出に取り組んだ。

##### ②男山地域の再生

男山地域において、年間を通じ地域住民が気軽に集える交流拠点「だんだんテラス」にコーディネーターを配置し、運営。令和2年度は男山やってみよう会議防災チームによる防災ハンドブックを作成し、同地域の自治組織へ配布した。

また、男山地域住民の有志グループが運営する地域子育て支援施設「おひさまテラス」への運営支援等を引き続き実施。緊急事態宣言の発令に合わせて施設を臨時閉所したことにより利用児童数は減少となったものの、同地域に住む子育て世帯にとって身近な交流及び子育て支援の場所としての役割を果たしており、地域に根付いた施設となっていることから、今後も同施設の運営支援等を行っていく。

##### ③自然と調和したまちの魅力の創出

令和3年度の第3次環境基本計画策定にあたり実施した市民・事業所アンケートや市民ワークショップを通じ、八幡の豊かな自然について考える機会を創出した。また、地球温暖化対策の推進による自然環境の保全を図るため、市内世帯の再生可能エネルギー導入に対し助成を行った。

地産地消の推進に向けては、八幡農業ボランティアの会の主催による農産物収穫体験や、市民農園の利用を通じた自然にふれあう機会の創出等に取り組んだ。

##### ④やわたへの愛着と誇りの醸成

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、可能な範囲で生涯学習センター講座、公民館・コミュニティセンター講座等の開設や、市民図書館の運営、松花堂庭園・美術館、文化センターの運営及び各種自主事業等を行い、幅広い年代層が歴史や文化芸術に触れる機会を創出した。また、市民が地域の歴史・伝統・文化を大切に暮らし、本市を誇りに感じる心「シビックプライド」を高められるよう、文化財講座やふるさと学習館への小学生の社会科見学を通じ、地域の文化財の情報発信に努めた。

なお、本市の歴史文化を通じた市民間交流の一環として実施予定であった、八幡浜市やマイラン村との訪問交流は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。

#### (2)「人と人が支え合う暮らしの絆づくり」へのチャレンジ

##### ①コミュニティ活動による地域づくりの推進

市内自治組織48団体と市政推進に関する協定を締結し、活動や拠点整備に対する助成などコミュニティ活動の支援を実施した。また、絆ネットワーク構築支援事業の実施や学校支援地域本部への活動助成など、様々なコミュニティ組織との連携を通じた地域づくりに努めた。

##### ②多様な人々が互いに支え合い安心して暮らせる共生社会の推進

近年増加している外国人住民への対応として、京都府事業を活用し、外国人住民が日常生活で抱える様々な悩み等への相談や情報提供を行う多言語生活相談を実施したほか、外国人受入企業等の関係機関協力の下、外国人住民に関するよくある相談事例等をまとめた「くらしのそうだん事例集」をやさしい日本語、ベトナム語、ポルトガル語で作成。民間の日本語指導ボランティア団体への教室開催場所(公民館)の提供も引き続き実施した。また、日本語を話すことができない外国人住民への対応を円滑に行うため、音声認識の外国語自動翻訳アプリを活用した窓口対応タブレットを配備するとともに、日本語指導を必要とする児童生徒に対しては、支援員等の派遣によるサポートを行った。

そのほか、誰もが互いに助け合いながら自分らしく活躍できる地域共生社会の実現に向け、絆ネットワーク構築支援事業や「わたしたちの談話」プロジェクトの実施による地域での共生の仕組み構築、女性専門・一般相談等の継続的な実施による男女共同参画社会の推進に向けた啓発、障がい者の活動の場や早期療育の機会創出、一般就労に向けた就労訓練及び一般就労後の支援、障害者団体の支援等に取り組んだ。



### (3) やわたEDISONチャレンジ！

#### ①八幡発の創業の推進

創業支援員の配置によるワンストップ窓口の設置・運営や融資保証料・利子の補給を継続的に実施した。創業支援事業計画(H28)を策定し創業者は増えているが、相談のみで起業に至らないケースもあり、具体的な支援について検討が必要。

#### ②農業の担い手の育成・強化と生産基盤の強化

経営規模拡大に向けた活動支援や、農機具等の購入に対する助成を実施するとともに、スマート農業技術を搭載した機械及び設備の導入に対し助成することで、担い手の作業性・生産効率向上を図ることができた。

また、耕作放棄地の発生防止や農家の経営安定化等を図るため、農業委員及び農地利用最適化推進委員による農地パトロールやアンケート調査を基に農地の利用集積を推進した。

#### ③まちづくりの担い手の育成

NPO等、非営利の市民活動団体の共有スペース及び情報発信拠点として運営する市民協働活動センターでは、コロナ禍の中、利用制限を行いつつ、継続して団体が活動できるよう支援を実施。また、京都府地域交響プロジェクト交付金の採択を受けた団体に対し、事業費の自己負担部分の一部を助成する市民協働活動事業助成についても、引き続き実施した。

市民の学習活動を支援し、まちづくりの担い手となってもらべく、生涯学習講座の開設等を新型コロナウイルス感染症の感染状況に留意しつつ実施するとともに、生涯学習人材バンクについては、ホームページでの周知を継続した。

## <基本目標の達成状況>

基本目標	現状値(H30)	R2実績	目標値(R6)	達成状況
転出入者数	▲215人	▲272人	0人以上	△
地域で活動する団体や住民が連携するネットワークの設置数	4団体	7団体	6団体	◎
まちの魅力度(全国順位)	381位	440位	200位以上	△
創業支援の相談者のうち創業に至った件数	1件	3件	4件	○
認定農業者数	73人	66人	78人	△
八幡市ボランティア連絡協議会登録団体の所属人数	285人	266人	310人	△

「地域で活動する団体や住民が連携するネットワークの設置数」については、「わたしたちの談話」プロジェクトによる取組として、地域で活動する団体間の話し合いの場づくりを支援した結果、目標値を達成、「創業支援の相談者のうち創業に至った件数」については現状値から前進となった。「八幡市ボランティア連絡協議会登録団体の所属人数」は、現在の担い手の高齢化を主な要因として、現状値から後退。「認定農業者数」については、高齢化等の理由により引き続き認定を受けようとする農業者が減少したことにより、現状値から後退。「転出入者数」についても現状値から後退した。「まちの魅力度(全国順位)」についても現状値から後退しているが、指数はH30が6.5、R2が7.0と上昇していることから、他市町が同様に地方創生に取り組んだ結果、相対的に全国順位が低下したものと思われ、さらなる魅力度向上に向けた取組により「住みたい・住み続けたい」と感じてもらい、転出超過の抑制を図っていく必要がある。

## ＜各施策の具体的事業の進捗状況＞

■ : 地方創生推進交付金を活用して取り組んだ事業

□ : 上記以外の事業

### (1)「日本一魅力的なスローライフタウン」へのチャレンジ

#### (KPIの達成状況)

KPI	現状値(H30)	R2実績	目標値(R6)	達成状況
松花堂庭園茶室利用者数	823人	131人	3,000人	△
収穫体験参加者数	171人	217人	310人	○
わがまち・八幡への愛着や誇りを感じる市民の割合	49.9%(H28)	R4取得予定	55.0%(R4)	—
リカレント教育推進講座の受講者数	545人	中止	650人	—
市域就職面接会で就業に至った人数	4人	1人	6人	△
居留意欲度(全国順位)	259位	307位	150位以上	△

「収穫体験参加者数」については、屋外でのイベントのため、コロナ禍でも従来通りに実施できたこと、また、家庭内での食事機会の増加に伴い、農作物需要が高まったこと等により、申込者が増加し、現状値から前進。「市域就職面接会で就業に至った人数」については新型コロナウイルス感染症の影響により現状値から後退、「松花堂庭園茶室利用者数」についても新型コロナウイルス感染症の影響により、やわた市民文化事業団主催事業の茶会が全て中止となったため、現状値から後退となった。「居留意欲度(全国順位)」についても現状値から後退しているが、指数はH30が5.3、R2が5.7と上昇していることから、他市町が同様に取り組んだ結果、相対的に全国順位が低下したものと思われ、住みたい・住み続けたいと感じてもらえるよう、更なる取組を行っていく必要がある。なお、「リカレント教育推進講座の受講者数」については、新型コロナウイルス感染症の影響により講座を中止したため、実績値を取得できなかった。

#### (事業進捗状況)

##### ①環境と調和したしごとの創出

##### 【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第4次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

<b>第5章 しなやかに発展する「活力のまち やわた」</b>		
第1節 活力の担い手育成		
施策①商工業の振興		
プロジェクト1.商工業の振興	104	ページ
プロジェクト3.就業支援	106	ページ
第2節 活力の基盤整備		
施策①企業立地の推進		
プロジェクト1.企業の進出可能な土地の確保	111～112	ページ
プロジェクト2.農地の保全	113	ページ
プロジェクト3.企業誘致の推進	114	ページ
<b>第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」</b>		
第1節 環境と発展の調和		
施策①環境にやさしい暮らしの創出		
プロジェクト3.環境に配慮した事業活動の支援と指導	129	ページ
施策②資源の循環活用		
プロジェクト1.資源の循環利用に協力しやすい工夫	131	ページ

##### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

→なし

## ②男山地域の再生

### 【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第4次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」	
第3節 持続可能な暮らしの基盤づくり	
施策①生活都市としての魅力の向上	
プロジェクト2.男山地域の再生	148 ページ

### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

令和2年度実績 実績・事業費※( )内は交付金充当額	令和3年度取組内容 実績・事業費※( )内は交付金申請額	
○ だんだんテラス運営支援 地域コミュニティ拠点施設「だんだんテラス」の運営支援及び活動費助成 981千円	⇒ 継続実施  1,600千円(800千円)	
○ 地域コーディネーター配置 大学と連携し、だんだんテラスに地域コーディネーターを配置 3,000千円	⇒ 継続実施  3,000千円(1,500千円)	
○ 子育て支援事業助成 男山地域の地域子育て支援施設「おひさまテラス」に対し、事業費の一部を助成  「おひさまテラス」利用児童 685人 1,495千円	⇒ 継続実施  1,524千円(750千円)	【再掲】

## ③自然と調和したまちの魅力の創出

### 【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第4次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

第4章 自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」	
第1節 シビックプライドの醸成	
施策③豊かな自然・歴史との触れ合い	
プロジェクト2.自然景観の保全	90 ページ
第5章 しなやかに発展する「活力のまち やわた」	
第1節 活力の担い手育成	
施策②農業の振興	
プロジェクト3.地産地消の推進	110 ページ
第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」	
第1節 環境と発展の調和	
施策①環境にやさしい暮らしの創出	
プロジェクト1.環境にやさしい暮らしの実践の支援	126～127 ページ
プロジェクト4.美しい八幡づくり	130 ページ
第3節 持続可能な暮らしの基盤づくり	
施策①生活都市としての魅力の向上	
プロジェクト1.居住地としての八幡市の魅力発信	147 ページ

【うち地方創生推進交付金活用事業】

令和2年度実績 実績・事業費※( )内は交付金充当額	令和3年度取組内容 実績・事業費※( )内は交付金申請額
○ さくら近隣公園リニューアル 安心して子育てできる環境の創出に向け、公園をリニューアル  47,159千円	⇒ オープニングイベント実施 リニューアルした公園のオープニングイベント開催(新型コロナウイルス感染症の影響により中止)  500千円(250千円)

【再掲】

④やわたへの愛着と誇りの醸成

【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第4次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関係するプロジェクトもあり。)

第1章 ともに支え合う「共生のまち やわた」		
第2節 協働による地域づくり		
施策②新たな担い手による地域づくり		
プロジェクト2.生涯学習の機会の拡充		26 ページ
第4章 自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」		
第1節 シビックプライドの醸成		
施策①文化芸術活動の振興		
プロジェクト1.市民が文化芸術に接し交流する機会の拡充		82 ページ
プロジェクト2.市民による文化芸術活動の促進		83 ページ
プロジェクト3.文化財の保存及び活用		84～86 ページ

【うち地方創生推進交付金活用事業】

→なし

## (2)「人と人が支え合う暮らしの絆づくり」へのチャレンジ

### (KPIの達成状況)

KPI	現状値(H30)	R2実績	目標値(R6)	達成状況
日本語教室の在籍者数	35人	112人	50人	◎
地域で活動する団体や住民が連携するネットワークの設置数	4団体	7団体	6団体	◎
就労系福祉サービス利用者及び一般就労移行者の数(延べ人数)	1,947人	2,293人	2,500人(R4)	○

「地域で活動する団体や住民が連携するネットワークの設置数」については、「わたしたちの談話」プロジェクトによる取組として、地域で活動する団体間の話し合いの場づくりを支援した結果、目標値を達成。「日本語教室の在籍者数」も、外国人住民の増加によるニーズの高まりにより、目標値を達成した。「就労系福祉サービス利用者及び一般就労移行者の数(延べ人数)」については、ハローワーク等の雇用窓口の活用や補助金等による障がい者雇用の環境整備により増加し、現状値から前進となった。

### (事業進捗状況)

#### ①コミュニティ活動による地域づくりの推進

##### 【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第4次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

第1章 ともに支え合う「共生のまち やわた」		
第2節 協働による地域づくり		
施策①コミュニティ活動による地域づくりの推進		
プロジェクト1.地域コミュニティ活動の充実		21 ページ
プロジェクト2.地域コミュニティ活動の基盤整備		22 ページ
プロジェクト3.多様なコミュニティ組織による地域づくり		23 ページ

##### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

→なし

#### ②多様な人々が互いに支え合い安心して暮らせる共生社会の推進

##### 【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第4次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

第1章 ともに支え合う「共生のまち やわた」		
第1節 共に生きる社会		
施策①人権・平和の尊重		
プロジェクト4.外国人との共生社会の構築		8 ページ
施策②男女共同参画の推進		
プロジェクト1.男女の人権の保護		9 ページ
プロジェクト2.男女共同参画の推進		10 ページ
施策③障がいのあるなしにかかわらず地域で安心して暮らせる社会の推進		
プロジェクト2.自立・参加支援体制の充実		14～15 ページ
プロジェクト3.障がいのある人が安心して暮らせるまちづくり		16～17 ページ
施策④地域の絆と支え合いによる共生社会の推進		
プロジェクト1.地域福祉推進体制の充実		18 ページ

【うち地方創生推進交付金活用事業】

令和2年度実績 実績・事業費※( )内は交付金充当額	令和3年度取組内容 実績・事業費※( )内は交付金申請額
<p>○ 第2次地域福祉推進計画推進 地域福祉推進協議会開催 120千円(52千円)</p>	<p>⇒ 推進 149千円</p>
<p>○ 手をつなぐ親の会活動助成 障がい児(者)の保護者の親睦等を図るため、キャンプや学習会等のイベントを行う「八幡市手をつなぐ親の会」に対し、活動費の一部を助成 411千円(205千円)</p>	<p>⇒ 継続実施 159千円</p>
<p>○ ハートフル・フラワー事業 施設美化及びプランターによる花の育成管理委託により、障がい者が社会参加する機会を創出 500千円(250千円)</p>	<p>⇒ 継続実施 159千円</p>
<p>○ 発達障害児等早期療育支援 社会福祉法人への委託により、発達障がい児を対象としたトレーニング等を実施 1,530千円(350千円)</p>	<p>⇒ 継続実施 159千円</p>
<p>○ 地域生活支援事業(精神障がい者ボランティア団体支援) 軽スポーツや会話等を通じて社会参加のきっかけを得る「いこいの場」運営及び傾聴電話を委託により実施 518千円(259千円)</p>	<p>⇒ 継続実施 610千円</p>
<p>○ ふれあい交流事業 障がい児と幅広い世代の地域住民やボランティアとの交流を目的に、文化・スポーツを通じた交流事業を実施 1回開催、参加者3人 24千円(4千円)</p>	<p>⇒ 継続実施 830千円</p>
<p>○ ふれあい福祉センター運営 利用者数 延 85人 161千円(80千円)</p>	<p>⇒ 運営 161千円</p>

### (3) やわたEDISONチャレンジ！

(KPIの達成状況)

KPI	現状値(H30)	R2実績	目標値(R6)	達成状況
創業相談件数	28件	36件	40件	○
担い手農家の農地利用集積面積	121ha	131ha	130ha	◎
市民協働活動センター利用人数	2,029人	926人	2,200人	△

「担い手農家の農地利用集積面積」については、高齢化で耕作が困難になりつつある農地を、担い手農家に担っていただけるよう周知に努めたことで、増加へとつながり、目標値を達成。「創業相談件数」については、現状値から前進となったが、相談のみで起業に至らないケースもあることから、資金繰り等具体的な支援策についても検討が必要。「市民協働活動センター利用人数」については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う各団体の活動自粛等により、現状値から後退した。

(事業進捗状況)

#### ①八幡発の創業の推進

##### 【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第4次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

第5章 しなやかに発展する「活力のまち やわた」	/
第1節 活力の担い手育成	
施策①商工業の振興	
プロジェクト2.八幡発の創業の推進	

##### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

→なし

#### ②農業の担い手の育成・強化と生産基盤の強化

##### 【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第4次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

第5章 しなやかに発展する「活力のまち やわた」	/
第1節 活力の担い手育成	
施策②農業の振興	
プロジェクト1.担い手の育成・強化	
プロジェクト2.生産基盤の強化	109 ページ

##### 【うち地方創生推進交付金活用事業】

→なし

#### ③まちづくりの担い手の育成

##### 【主な事業】

→総合計画を参照。(第5次総合計画第4次実施計画に掲載されている各プロジェクトの該当ページを表記。但し、複数の柱に関するプロジェクトもあり。)

第1章 ともに支え合う「共生のまち やわた」	/
第2節 協働による地域づくり	
施策②新たな担い手による地域づくり	
プロジェクト1.地域づくりの担い手(NPO・ボランティア等)の育成	
プロジェクト2.生涯学習の機会の拡充	26 ページ

【うち地方創生推進交付金活用事業】

令和2年度実績 実績・事業費※( )内は交付金充当額	令和3年度取組内容 実績・事業費※( )内は交付金申請額
<p>○ 創造的事業創出に向けた民間主導での議論の場の創出支援</p> <p>実績なし</p> <p>0千円</p>	<p>⇒ 継続実施</p> <p>やわたブランド創出事業において創出した産品も含めた、民間主導による社会実証の場創出支援</p> <p>174千円(87千円)</p>